



ふじ もと とも こ  
藤本智子

にほんきょうざんとう つしぎだん  
日本共産党津市議団

### 巨大災害時のリスクを検討し、見合う対策を

**問** 南海トラフ地震などの大災害に備え、災害時の脆弱性をよく検討し、それに見合うきめ細かな対策を立てていく必要がある。今の防災計画では避難誘導路の点検などは自主防災組織に委ねているところが大きく、取り組みに格差がある。人命を守ることを最優先に行政として責任を持つ必要がある。「強靱化計画」を策定して取り組むべきではないか。

**答** 国土強靱化基本計画や地域計画は、国土強靱化に関連するさまざまな計画の基になる方針的なものであると考える。そのため、計画を策定すればストレートに強靱化が具体化されるという認識ではなく、その計画を受けて、それぞれの下位の計画でしっかりと強靱化を取り入れることが重要だと考えることから、各計画に国土強靱化の考え方が反映できるように今後も取り組みを進める。

自主防災活動については、地域での防災学習会や勉強会にこちらから出向き、自主防災会と一緒に考えていく観点で進めている。現場で一緒に考え、計画を立て、行動するという姿勢で、自主防災会の活動の促進に合わせながら、地区防災計画の作成を促していく。

### ●その他の質疑・質問●

- （仮称）久居ホール駐車場用地の強制収用は適当か
- 防災備蓄品等に対する補助上限額の見直しを
- 公共施設のエアコン運用は、熱中症対策を念頭に実態に即して柔軟に
- ごみ集積所改修補助金「1カ所5万円以上」の見直しを
- 人事配置、人事管理の基本的な考え方は



▲ごみ集積所改修の補助は「1カ所5万円以上」の見直しを



はっ た まさ とし  
八 太 正 年

じゆうみんしゅとう しぎだん  
自由民主党市議団

### 近鉄久居駅周辺の鉄道高架化の実現を

**問** 平成29年3月議会で、近鉄久居駅周辺の鉄道高架化には莫大な費用がかかるとの答弁がされたが、何を根拠にそのような答弁をしたのか。

津市には自衛隊の駐屯地があることから、防衛施設に関わる交付金を財源とすればよい。

安全・安心なまちづくりのためにも、危険踏切や交通渋滞の解消できる鉄道高架化事業を総合計画に位置付けるべきである。

**答** 四日市市の近鉄川原町駅周辺の鉄道高架化（連続立体交差事業）において、延長が680mに対し、事業費が約111億円であったことから、当該事業の1m当たりの単価を算出した上で、久居駅周辺を鉄道高架化するためには約1kmの延長が必要と考え、久居駅周辺の事業費を約163億円と試算したものである。

財源内訳としては、一般的な国の補助金を活用すると、国が55%、県が20%、市が20%、鉄道事業者が5%となることから、津市の財源としては、約32億5,000万円が必要となると考えている。

なお、防衛施設に関わる交付金を財源とする点については、現在のところ、考慮していない。

### ●その他の質疑・質問●

- 地域住民が集まる場（老人福祉センター・コミュニティセンター）の整備を
- 白塚地区及び河芸地域沿岸部の海岸堤防改修に係る進捗は
- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の行方は
- 公共工事発注の火薬使用による民家破損の事故等に伴う補償について



▲地域住民が集まる場（津市西部市民センター）